

県内定着に向けた高等教育機関及び県の取組

1 進学時に県内の高等教育機関を選んでもらうための取組

(1) 高等教育コンソーシアムみえ*の取組

○ 単位互換協定の締結

県内の各高等教育機関が授業科目を開放し、教育課程の充実や幅広い視野を持った学生の育成等を目的として、平成29年6月に知事立ち会いの下、単位互換協定を締結しました。

平成30年度から他の高等教育機関の授業科目が受講できることとなり、学生にとって学びの選択肢の拡大につながっています。

* 高等教育コンソーシアムみえ

三重県内高等教育機関相互、並びに県内高等教育機関と地域との連携を促進することにより、県内高等教育機関の教育、研究、地域貢献の各機能の向上を図り、人口減少の抑制及び地域の活性化を実現することを目的として、平成28年3月に創設されました。

県内高等教育機関と県が構成員として参画しており、共通授業の構築など、各主体が連携して若者の県内定着に向けて取り組んでいます。

県内には、14高等教育機関が設置されており、本県の18～24歳人口の約2割を占める約17,000人の学生が在籍しています。

高等教育機関は、人材育成や研究に取り組むほか、企業等との共同研究、地域団体との地域活動など、地域のハブとしての役割も担っており、若者と地域をつなぐ重要な機関となっています。

< 県内の14高等教育機関 >

- 大 学 : 三重大学、三重県立看護大学、四日市大学、四日市看護医療大学、鈴鹿医療科学大学、鈴鹿大学、皇學館大学
- 短 期 大 学 : 三重短期大学、ユマニテク短期大学、鈴鹿大学短期大学部、高田短期大学
- 高等専門学校 : 鈴鹿工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、近畿大学工業高等専門学校

(2) 高等教育機関の取組

① オープンキャンパス

進学を希望する高校生やその保護者を対象に学校施設を公開し、大学等の紹介、模擬授業の体験や現役学生とのふれあいを通して、大学等への進学を魅力的に紹介しています。



四日市大学で研究内容の説明を聞く
県内高校生



皇學館大学で学生と「学生生活」についてト
ークセッションする県内高校生

② 高大連携事業

高校生が県内大学等の「学び」に触れる機会や高校と大学等の交流機会の提供を通じて、県内大学等の魅力に触れることを目的として、出前授業や模擬授業・公開授業などの高大連携事業を実施しています。

(ア) 出前授業

県内の高校生が進路を考えるための機会と材料を提供するため、大学等の教員が高校に出向いて授業を行っています。

(イ) 模擬授業・公開授業

大学等の教育研究に触れ、理解と関心を深めてもらうため、県内の高校生が大学等の授業を体験する模擬授業や、大学生とともに授業を受講して、所定の成績を修めた場合は、大学等の単位を与える公開授業などの取組を行っています。



「出前授業」で四日市大学の教員の説明
を聞く県内高校生



「模擬授業」で皇學館大学の教員の説明を聞く
県内高校生

(3) 県の取組

① 高等教育機関魅力向上支援補助金

県内高校からの学生の確保や県内企業への就職支援など、学生の県内定着に向けた新たな取組を行う県内高等教育機関に対して、平成27年度から平成29年度まで「高等教育機関魅力向上支援補助金」による支援を実施し、入学者数の向上につながる取組が実施されています。

<主な事業>

○ 高田短期大学『『未来』・『夢』・『実現』 応援プロジェクト』

県内高等教育機関で初めてとなる女子サッカークラブチーム「みえ高田FC」を設立し、サッカーを続けたい女子生徒の進学先として受け入れを行っています。平成30年度には、20名を超える学生が所属しています。

○ 鈴鹿医療科学大学「医療・福祉人材の育成と地元定着促進のための多職種連携実践教育の取り組み」

学生確保に向けた情報発信として、Webサイトの刷新や小・中・高校を訪問しての医療・福祉ガイダンスの実施を行っています。また、医療・福祉人材の育成の充実のため、地域の施設や病院等と連携した新たな実践的教育を実施しています。

② 地域と高等教育機関の魅力発信冊子「みえコレッ！」

より多くの若者が将来、三重県で過ごし、若しくは三重県を応援していただくことを目的として、三重県の良さを知っていただくための冊子「みえコレッ！」を作成しました。

三重県の魅力を3つのライフシーン「暮らし」「働く」「学ぶ」から紹介する内容で構成しており、平成27、28年度に県内全ての高校2年生等に配布しました。また、県ホームページにおいても周知しています。



地域と高等教育機関の魅力発信冊子「みえコレッ！」

2 就職時に県内の企業等を選んでもらうための取組

(1) 高等教育コンソーシアムみえの取組

① 「三重を知る」共同授業の開講

学生に三重への愛着・誇りを持ってもらうきっかけとなるよう、県内複数の高等教育機関が、「三重を知る」共同授業を開発しました。

授業は、現場におけるフィールドワークやグループ学習等を行う課題解決型と、ゲストスピーカーによる講話等を行う講義型の2種類の科目により構成され、平成29年度から開講されています。

参考：「三重を知る」共同授業一覧

科目	授業テーマ ※ ()内は参画した高等教育機関	履修者数	
		H29	H30
課題解決型	食と観光実践 (三重大学、四日市大学、皇學館大学、鈴鹿大学)	16名	29名
	次世代産業実践 (三重大学、鈴鹿工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校)	19名	25名
	医療・健康・福祉実践 (三重大学、鈴鹿医療科学大学)	8名	
	地域発見型インターン (H30新設) (三重大学、四日市大学、三重短期大学)		5名
	三重の地場産業 (H30新設)		(後期)
講義型	三重の歴史と文化 (三重大学)	24名	16名
	三重の産業 (三重大学)	18名	(後期)



「食と観光実践」のフィールドワークで、おかげ横丁の景観整備等を学ぶ学生



「医療・健康・福祉実践」のグループワークで、地域医療の解決策を検討する学生

② 三重県南部地域就職イベント

南部地域における企業等について、学生によく知ってもらい、就職時における選択肢として考えてもらうことを目的として、県内高等教育機関の学生を対象にバスツアーを平成30年度に初めて開催します。

約70名の学生が参加し、企業見学の他、講話や企業との意見交換などを行う予定です。

③ 「学生」×「地域」の活動発表会「みえまちキャンパス」

学生が日頃の地域活動を発表し、高等教育機関関係者や学生、NPO、企業など、広く県民の皆さんに知ってもらうとともに参加者間で交流を行い、学生の新たな活動の輪を広げてもらうことを目的とした『学生』×『地域』の活動発表会『みえまちキャンパス』を平成29年度に開催しています。

地域活動を行う学生団体がそれぞれの地域活動を発表しており、地域における学生の様々な取組内容や、地域への思い・愛着を知ることができ、それぞれが取り組む地域活動が活性化するとともに、三重県への愛着心が向上することが期待できます。

平成30年度は四日市大学で開催し、新たに参加学生同士の意見交換会を実施するなど、交流を重視した取組を予定しています。



プレゼンで大賞を受賞した「四日市東日本大震災支援の会」による発表(皇學館大学)



活動内容を紹介するパネル展示において学生スタッフからのインタビューに答える学生(皇學館大学)

(2) 高等教育機関の取組

① 三重創生ファンタジスタの養成

三重大学では、学生の県内定着に向けて、文部科学省の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」（平成27～31年度）を活用して、県内全高等教育機関、県、23の企業・団体の事業協働機関と連携して、地域志向を持った本県産業等をリードする人材「三重創生ファンタジスタ」の養成に取り組んでいます。

平成29年度は、県内9高等教育機関（四日市大学、皇學館大学、鈴鹿大学、三重短期大学、四日市看護医療大学、鈴鹿医療科学大学、三重県立看護大学、鈴鹿工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校）が、地域社会の歴史や文化など地域の魅力や課題を座学で学ぶ三重創生ファンタジスタ（ベーシック）資格教育プログラムを開設し、85名が資格を取得しました。平成30年度からは、高田短期大学でも開設されています。

また、平成28年度から、三重大学では、「食と観光分野」「次世代産業分野」「医療・健康・福祉分野」において、平成30年度からは、四日市大学及び皇學館大学では「食と観光分野」、鈴鹿医療科学大学では「医療・健康・福祉分野」において、フィールドワークを含めた演習授業を行う三重創生ファンタジスタ資格教育プログラムを開設しました。

三重創生ファンタジスタ資格

三重県の皆さん、ご存知ですか？

三重創生ファンタジスタ資格とは、三重県全体を養成する資格です！

文部科学省における「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」で採択された。自治体が増加し、三重県の高等教育機関が地域の特色を持ち、積極的な役割を果たす地域人材「三重創生ファンタジスタ」を養成する学生向けの資格です。

地域の課題にむかえ、三重創生ファンタジスタ、進んで教育するプログラム

三重創生ファンタジスタ資格

次世代産業

三重創生ファンタジスタ ベーシック 資格

三重をリード、三重の課題にむかえ、新鋭の若い学生を養成しています

事業協働機関・事業協力機関

COC+大学 三重大学

四日市大学、四日市看護医療大学、皇學館大学、鈴鹿大学、三重短期大学、三重県立看護大学、鈴鹿工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、高田短期大学、三重県立看護大学、三重県立看護大学

協賛校 三友製菓

事務局 三重県産業振興局産業振興課 四日市支庁 産業振興課

TEL 059-4327 三重県産業振興局産業振興課 四日市支庁 産業振興課

Web jyuho@pref.mie.lg.jp

三重創生ファンタジスタ資格の広報チラシ



「次世代産業実践」のグループワークで、ロケット製造工場を見学する学生

② 地域課題の解決に向けた人材育成

○ 四日市大学では、文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（大学ＣＯＣ事業）」（平成26～30年度）を活用して、四日市市、三重県と連携し、地域課題の解決に向けて主体的に行動できる人材を育成しています。

主な取組として、地域課題などの認識を深め、地域との結びつきを実践する教育カリキュラム「地域志向科目」の整備、教員の指導のもとで学生が継続的に地域活動に参加する「協創ラボ」や地域とともに学生を育てる舞台として平成25年に設置した「ボランティアセンター」の強化などを行っています。

・ ボランティアセンター

学生の主体的なボランティア活動による人間的成長の支援及び四日市大学の地域貢献力の向上を目的に、全学生をボランティア登録し、組織的な運営を行っています。

平成29年度は、子どもへの学習支援や地域の恒例イベント補助など、地域からの継続依頼のある取組に加えて、留学生のボランティア活動等により、延べ223人の学生がボランティア活動に参加しました。

その中でも、平成28年度防災功労者防災担当大臣表彰を受賞した「四日市東日本大震災支援の会」への参加を通じて、多くの学生が防災士の資格を取得し、地域での防災活動や県外での災害支援を行っています。

＜「四日市東日本大震災支援の会」を通じた主な活動＞

県内では、四日市市と連携して、防災に機能を限定した学生消防団を設立し、平時には防災啓発や救命講習の指導、災害時には避難所や災害ボランティアセンターの運営支援を行っています。

また、県教育委員会と連携して、中高生の防災士資格の取得を指導しています。

県外では、東日本大震災、紀伊半島大水害、熊本地震などの被災地において、避難所支援、地域見回り活動、仮設住宅での緊急救援・生活支援・復興支援活動などを行ってきました。



「四日市東日本大震災支援の会」の活動
(第50回派遣:熊本地震)

四日市大学及び四日市看護医療大学の学生が平成29年11月に熊本県の仮設住宅を訪問

○ 皇學館大学では、文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」（平成26～30年度）を活用して、県内3市5町（伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、明和町）の自治体と連携し、持続可能な伊勢志摩圏域の未来について考え行動するアクティブ・シチズンを養成する教育プログラム「伊勢志摩定住自立圏共生学」の開発等に取り組んでいます。

「伊勢志摩定住自立圏共生学」では、1～2年次に伊勢志摩圏域の定住資源や経済、産業における基礎的知識や課題、将来像などを学修します。3～4年次には、学生が自ら選んだ地域において、自治体職員や住民とともに地域の社会サービスを経験し、圏域の課題解決に向けた研究に取り組めます。

平成30年度は、「伊勢志摩定住自立圏共生学」について、圏域内の行政チャンネル等を活用した配信を行い、伊勢志摩圏域の経済・産業等について学ぶ機会を広げています。



伊勢志摩定住自立圏共生学を受講する皇學館大学の学生



伊勢志摩定住自立圏共生学実習（地域インターンシップ）農家の作業を体験する皇學館大学の学生

また、「伊勢志摩定住自立圏共生学」を支える仕組みの一つとして、取組を支える学生がキャンパスを飛び出し、伊勢志摩圏域内のフィールドで、地域で活動する様々な人・企業・行政・団体・NPO等との対話、連携、協働経験を通じて、地域でのコミュニケーション手法を学ぶ学修プログラム（CLL活動）を実施しています。

③ J o bキャラバンの実施

県内就職を考えるきっかけとするため、県内高等教育機関の主に1年生を対象に、県内企業・団体等の若手社員と働く意義や楽しさについてじっくりばらんに対話できる「J o bキャラバン」を実施しています。

平成30年度は、三重大学、四日市大学、皇學館大学、鳥羽商船高等専門学校で実施し、440名の学生が参加しました。



テーブルごとに企業の社員等と質疑を交えながら対話する学生(三重大学)



講義形式で団体の代表と質疑を交えながら対話する学生(皇學館大学)

(3) 県の取組

① ホームページ「みえの企業まるわかりNAVI」

若者が、就職先を考える参考となるよう、Webサイト「みえの企業まるわかりNAVI」で、県内の卓越した技術を持つ企業、働きやすい職場づくりを進めている企業、今働いている先輩社員からの応援メッセージなど、県内企業の魅力を紹介しています。(300社掲載)



② 県外大学との就職支援協定の締結

県では、県内産業の次代を担う人材の確保を図るため、県外大学と連携・協力して学生のU・Iターンの就職活動に対する支援に取り組んでいくこととし、県内からの進学者が多い関西圏と愛知県の12の大学と就職支援に関する協定を締結しています。



立命館大学との締結式



知事が三重県で働く・暮らす魅力を学生にPRする様子

参考：立命館大学（H28.2）、近畿大学（H28.3）、龍谷大学（H28.3）、同志社大学（H28.8）、関西大学（H28.8）、愛知学院大学（H28.11）、中部大学（H28.11）、愛知大学（H29.2）、愛知工業大学（H29.11）、金城学院大学（H29.11）、至学館大学（H30.2）、京都女子大学（H30.3）

③ U・Iターン、インターンシップの推進

県では、県内経済団体、三重労働局、県内大学や就職支援協定締結大学等の参画を得て、「三重U・Iインターンシップ推進協議会」を設置し、県内外の学生等を対象とした地域課題解決型インターンシッププログラム等を検討するとともに、県内企業に対するインターンシップ受入促進策や大学生の参加促進策等について協議を進めています。



知事がU・Iターン就職セミナーで働き方改革や女性活躍に取り組む企業を紹介する様子



県内企業の経営者に企業の働きがいを聞く取材型インターンシップの様子

④ 地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業助成金

若者の県内定着を促進するため、過疎地域・準過疎地域などの指定地域への居住等を条件に、大学生等の奨学金の返還額の一部を助成する事業を平成28年度から実施しています。

卒業時における奨学金の返還総額の1/4（上限100万円）を助成するもので、助成金は、大学等を卒業後、指定地域に4年間居住した場合に支給総額の1/3を支給し、8年間居住した場合に残額を支給します。

平成28年度は、支援対象者として16名を認定し、うち15名が指定地域に居住しています。また、平成29年度は、支援対象者14名を認定し、うち3名が指定地域に居住しています。

⑤ 「学生×地域活動」サポート情報局

地域活動に関心がある学生と課題を抱える地域のさまざまな主体とのマッチングを推進し、学生の地域への関心を深めることにより、県内定着につなげていくため、平成27年11月に「学生×地域活動」サポート情報局を開設し、県内高等教育機関の学生と地域のさまざまな主体とのマッチングを推進しています。

サポート情報局では、スマートフォンでも利用できるマッチングのためのWebサイト「ぴたゼミ」を開設するとともに、コーディネーターを置いて、学生や地域活動団体等へのPRや相談対応、Webサイトに掲載する地域活動のコーディネート等に取り組んでいます。

平成29年度は、四日市地域における海岸ゴミ拾い清掃など、延べ73件の地域活動を地域団体等から登録、延べ276人の学生に参加していただきました。

平成30年度は、新たに各高等教育機関の就職支援担当等と連携し、コミュニケーション力をはじめとした社会人基礎力の向上にもつながる活動をサポート情報局事務局が企画して学生を募集するなど、就職時における県内定着の視点からも取り組みます。



Event
【9月15日(土)開催】おおだい森のようちえん ボランティアスタッフ募集
開催日：9月15日(土)
活動内容に記載 特定非営利活動法人大杉谷自然学校

学生を募集している地域活動の一例



四日市市吉崎海岸の清掃活動に取り組む学生等